

VII. 困っていること

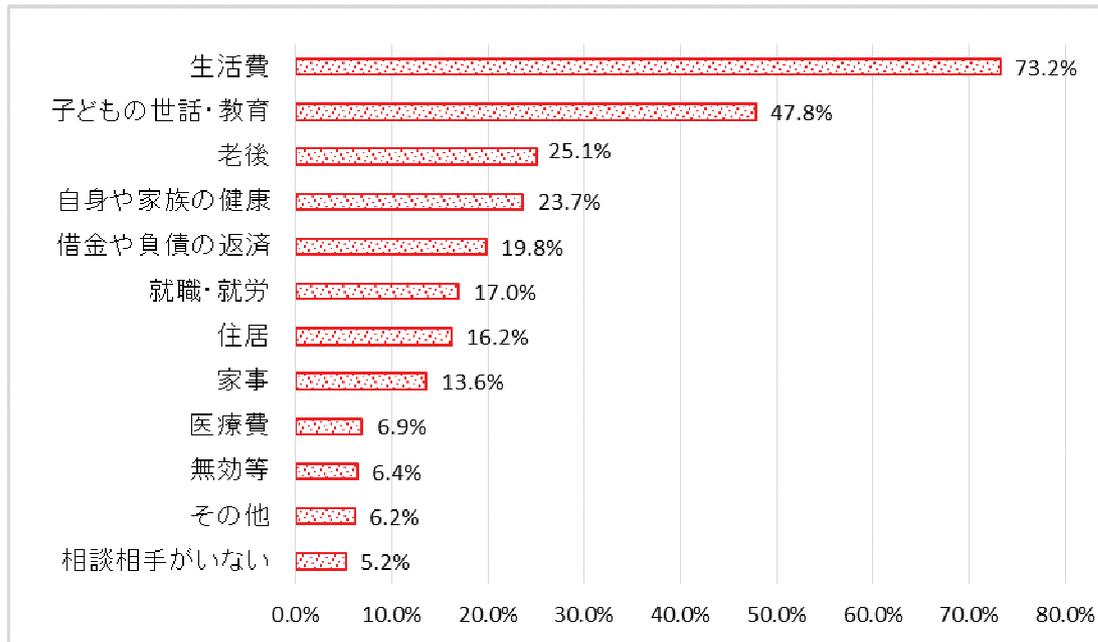
1 現在困っていること (問39)

1-1 現在困っていること

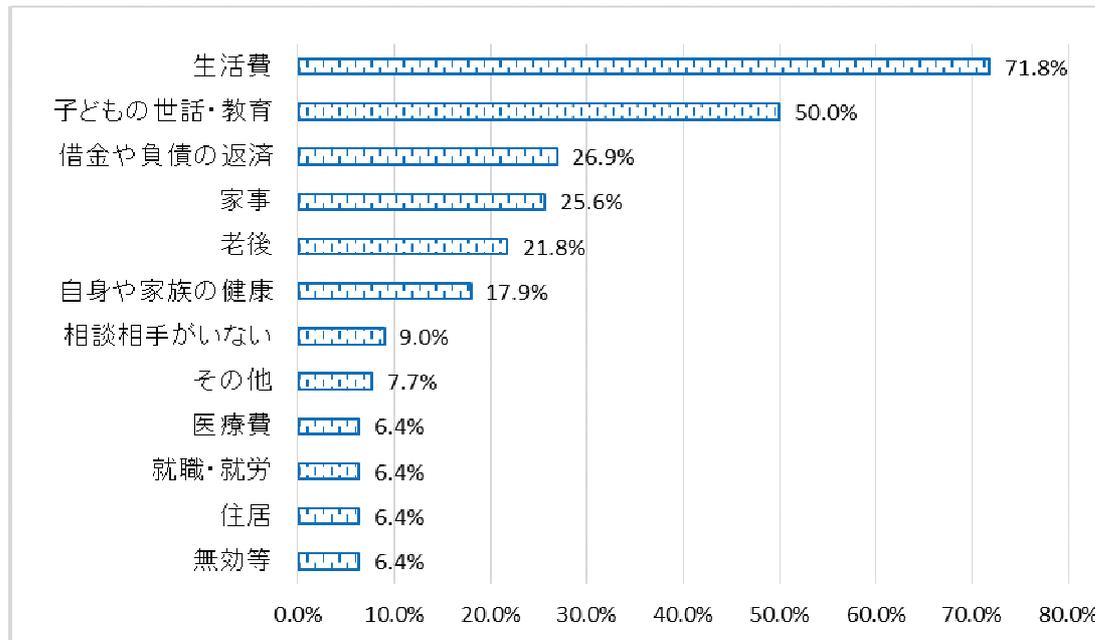
現在の悩みとしては、母子世帯は「生活費」が73.2%と最も多く、「子どもの世話・教育」が47.8%、「老後」が25.1%となっている。

父子世帯は、「生活費」が71.8%と最も多く、次いで「子どもの世話・教育」が50.0%、「借金や負債の返済」が26.9%となっている。

〔母子世帯〕



〔父子世帯〕



※無回答・無効回答については総数から除き、構成比は総数から無回答・無効回答を除いたところで算出しています。

	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
生活費	854	73.2%	56	71.8%	910	73.2%
医療費	81	6.9%	5	6.4%	86	6.9%
借金や負債の返済	231	19.8%	21	26.9%	252	20.3%
子どもの世話・教育	557	47.8%	39	50.0%	596	47.9%
就職・就労	198	17.0%	5	6.4%	203	16.3%
住居	189	16.2%	5	6.4%	194	15.6%
家事	159	13.6%	20	25.6%	179	14.4%
自身や家族の健康	276	23.7%	14	17.9%	290	23.3%
相談相手がない	61	5.2%	7	9.0%	68	5.5%
老後	293	25.1%	17	21.8%	310	24.9%
その他	72	6.2%	6	7.7%	78	6.3%
無効等	75	6.4%	5	6.4%	80	6.4%
回答者数	1166	—	78	—	1244	—

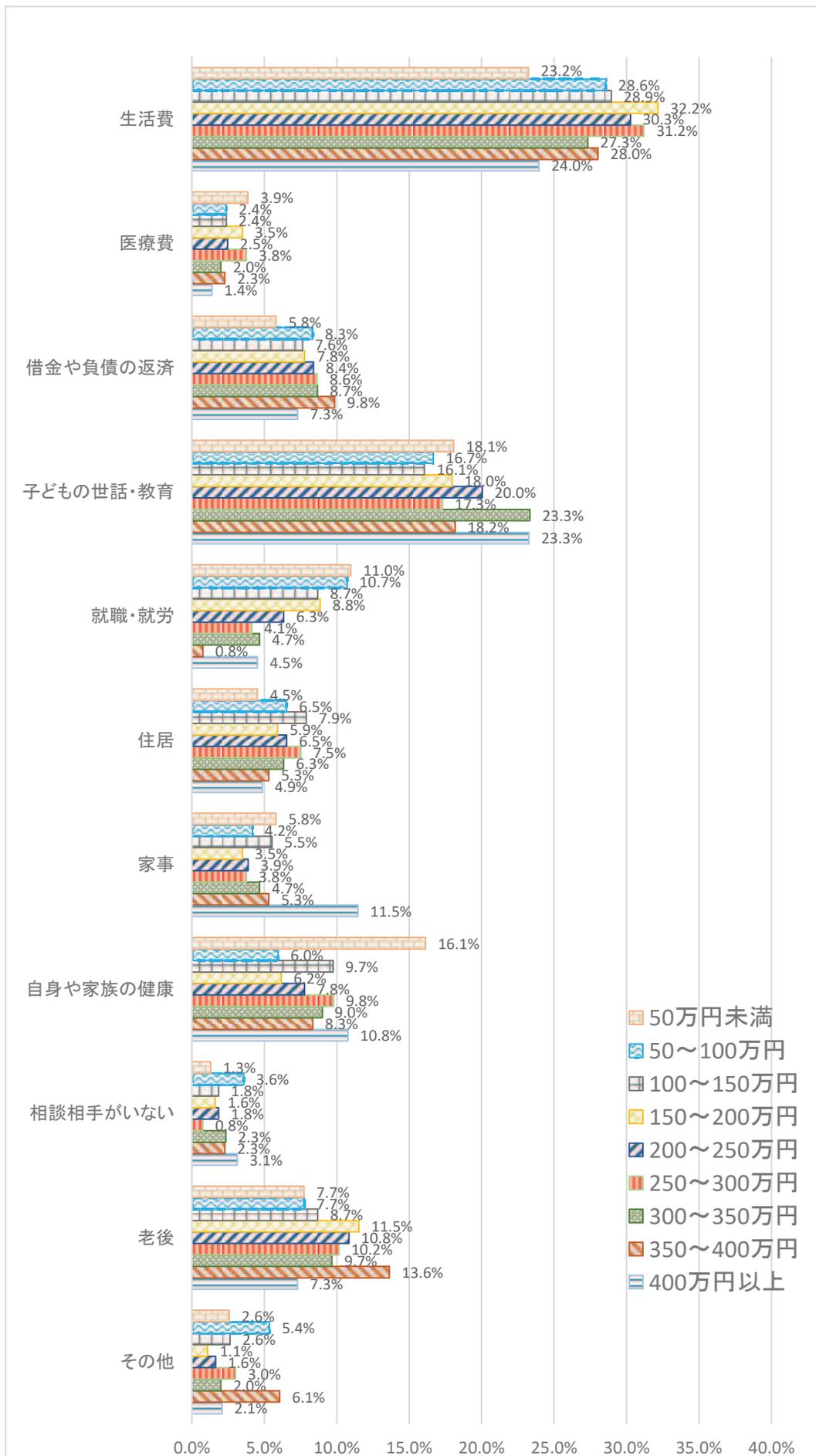
1-2 本人の就労収入別の現在困っていること

(1) 母子世帯

本人の年間就労収入では、すべての世帯で「生活費」が最も多くなっている。次いで「子どもの世話・教育」が多くなっている。

「150～200万円」、「200～250万円」、「250～300万円」の世帯は、「生活費」が30%以上で高い割合となっている。

	50万円未満		50～100万円		100～150万円		150～200万円		200～250万円		250～300万円		300～350万円		350～400万円		400万円以上		総計
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	
生活費	36	23.2%	48	28.6%	110	28.9%	120	32.2%	148	30.3%	83	31.2%	82	27.3%	37	28.0%	69	24.0%	733
医療費	6	3.9%	4	2.4%	9	2.4%	13	3.5%	12	2.5%	10	3.8%	6	2.0%	3	2.3%	4	1.4%	67
借金や負債の返済	9	5.8%	14	8.3%	29	7.6%	29	7.8%	41	8.4%	23	8.6%	26	8.7%	13	9.8%	21	7.3%	205
子どもの世話・教育	28	18.1%	28	16.7%	61	16.1%	67	18.0%	98	20.0%	46	17.3%	70	23.3%	24	18.2%	67	23.3%	489
就職・就労	17	11.0%	18	10.7%	33	8.7%	33	8.8%	31	6.3%	11	4.1%	14	4.7%	1	0.8%	13	4.5%	171
住居	7	4.5%	11	6.5%	30	7.9%	22	5.9%	32	6.5%	20	7.5%	19	6.3%	7	5.3%	14	4.9%	162
家事	9	5.8%	7	4.2%	21	5.5%	13	3.5%	19	3.9%	10	3.8%	14	4.7%	7	5.3%	33	11.5%	133
自身や家族の健康	25	16.1%	10	6.0%	37	9.7%	23	6.2%	38	7.8%	26	9.8%	27	9.0%	11	8.3%	31	10.8%	228
相談相手がいない	2	1.3%	6	3.6%	7	1.8%	6	1.6%	9	1.8%	2	0.8%	7	2.3%	3	2.3%	9	3.1%	51
老後	12	7.7%	13	7.7%	33	8.7%	43	11.5%	53	10.8%	27	10.2%	29	9.7%	18	13.6%	21	7.3%	249
その他	4	2.6%	9	5.4%	10	2.6%	4	1.1%	8	1.6%	8	3.0%	6	2.0%	8	6.1%	6	2.1%	63
無効等	2		2		3		6		16		11		7		2		11		60
回答者数	155	100%	168	100%	380	100%	373	100%	489	100%	266	100%	300	100%	132	100%	288	100%	2551

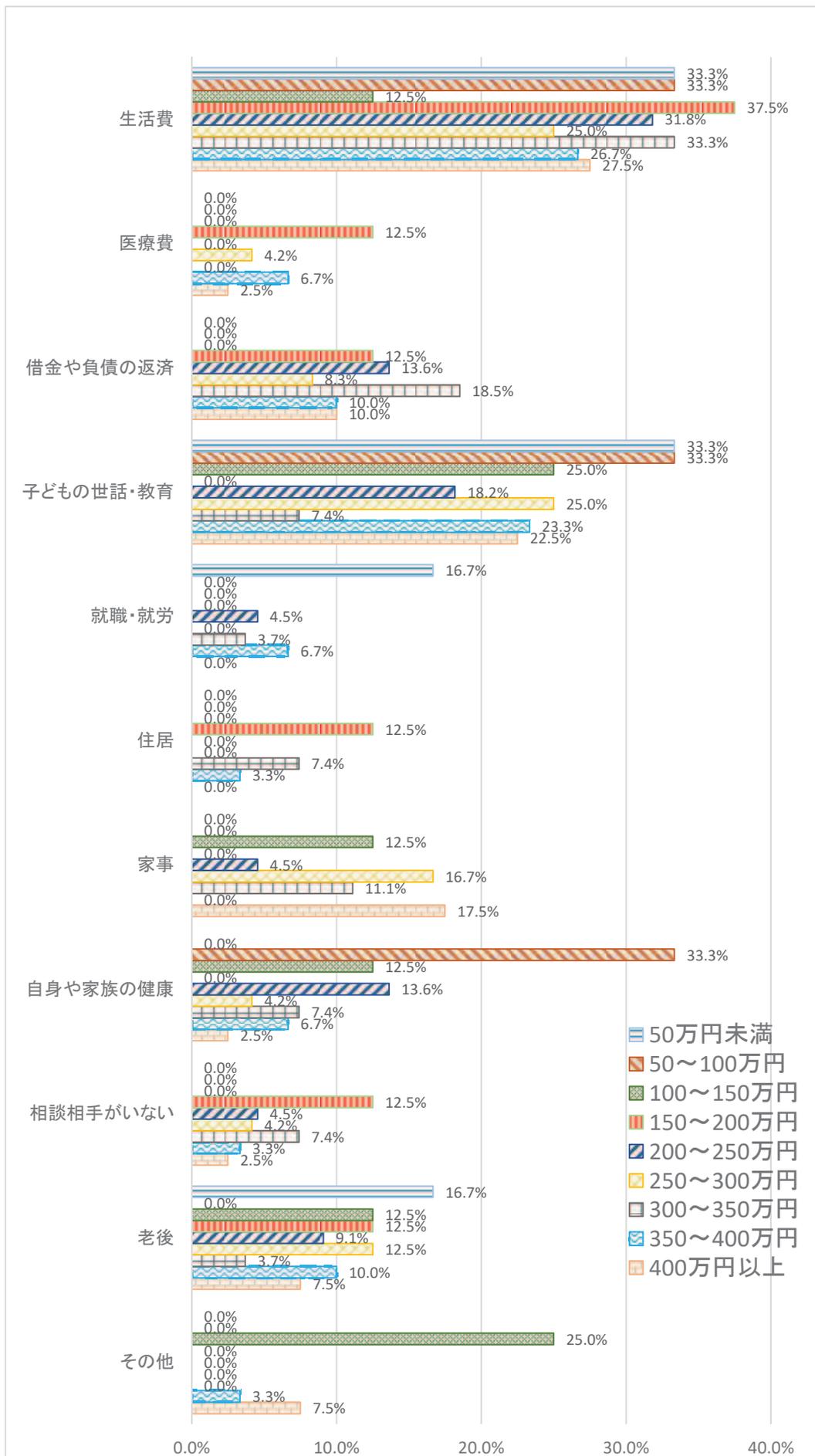


(2) 父子世帯

本人の年間就労収入は、全体的に見て、「生活費」が最も多くなる傾向があり、次に「子供の世話・教育」が多くなる傾向がある。

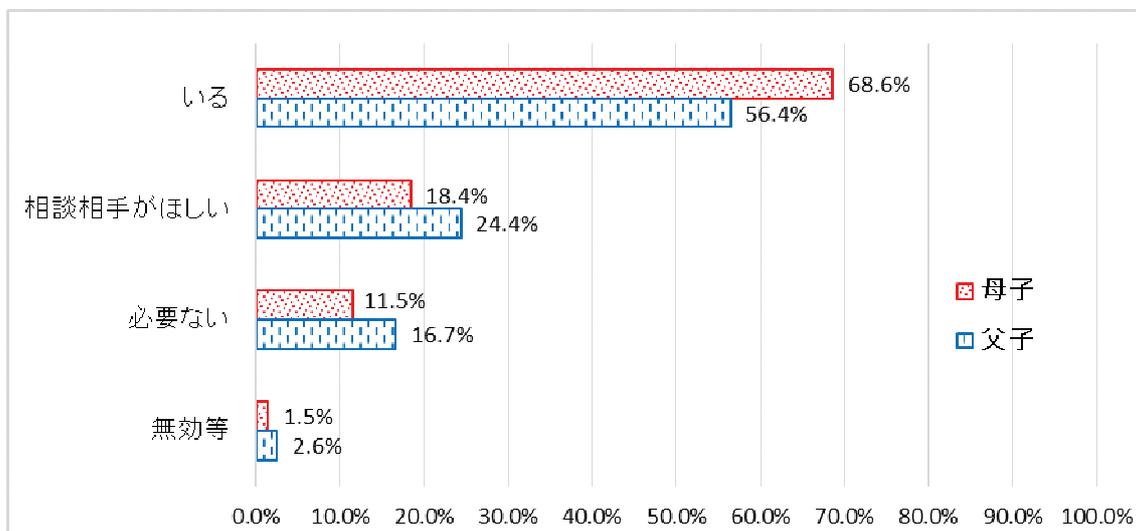
「50万円未満」、「50～100万円」の世帯は、「生活費」が30%以上を占めており、さらに、「子供の世話・教育」が30%以上を占めている。

	50万円未満		50～100万円		100～150万円		150～200万円		200～250万円		250～300万円		300～350万円		350～400万円		400万円以上		総計
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	
生活費	2	33.3%	1	33.3%	1	12.5%	3	37.5%	7	31.8%	6	25.0%	9	33.3%	8	26.7%	11	27.5%	48
医療費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%	2	6.7%	1	2.5%	5
借金や負債の返済	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	3	13.6%	2	8.3%	5	18.5%	3	10.0%	4	10.0%	18
子どもの世話・教育	2	33.3%	1	33.3%	2	25.0%	0	0.0%	4	18.2%	6	25.0%	2	7.4%	7	23.3%	9	22.5%	33
就職・就労	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	1	3.7%	2	6.7%	0	0.0%	5
住居	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	7.4%	1	3.3%	0	0.0%	4
家事	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	1	4.5%	4	16.7%	3	11.1%	0	0.0%	7	17.5%	16
自身や家族の健康	0	0.0%	1	33.3%	1	12.5%	0	0.0%	3	13.6%	1	4.2%	2	7.4%	2	6.7%	1	2.5%	11
相談相手がない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	1	4.5%	1	4.2%	2	7.4%	1	3.3%	1	2.5%	7
老後	1	16.7%	0	0.0%	1	12.5%	1	12.5%	2	9.1%	3	12.5%	1	3.7%	3	10.0%	3	7.5%	15
その他	0	0.0%	0	0.0%	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.3%	3	7.5%	6
無効等	0		0		0		0		1		1		0		1		1		4
回答者数	6	100%	3	100%	8	100%	8	100%	22	100%	24	100%	27	100%	30	100%	40	100%	168



2 相談相手（問40）

現在、相談相手がいるか否かについては、母子世帯の母の68.6%、父子世帯の父の56.4%で「いる」となっている。母子世帯の母の18.4%、父子世帯の父の24.4%が「相談相手がほしい」としている一方、「相談相手は必要ない」としたひとり親は、母子世帯で11.5%、父子世帯で16.7%となっている。

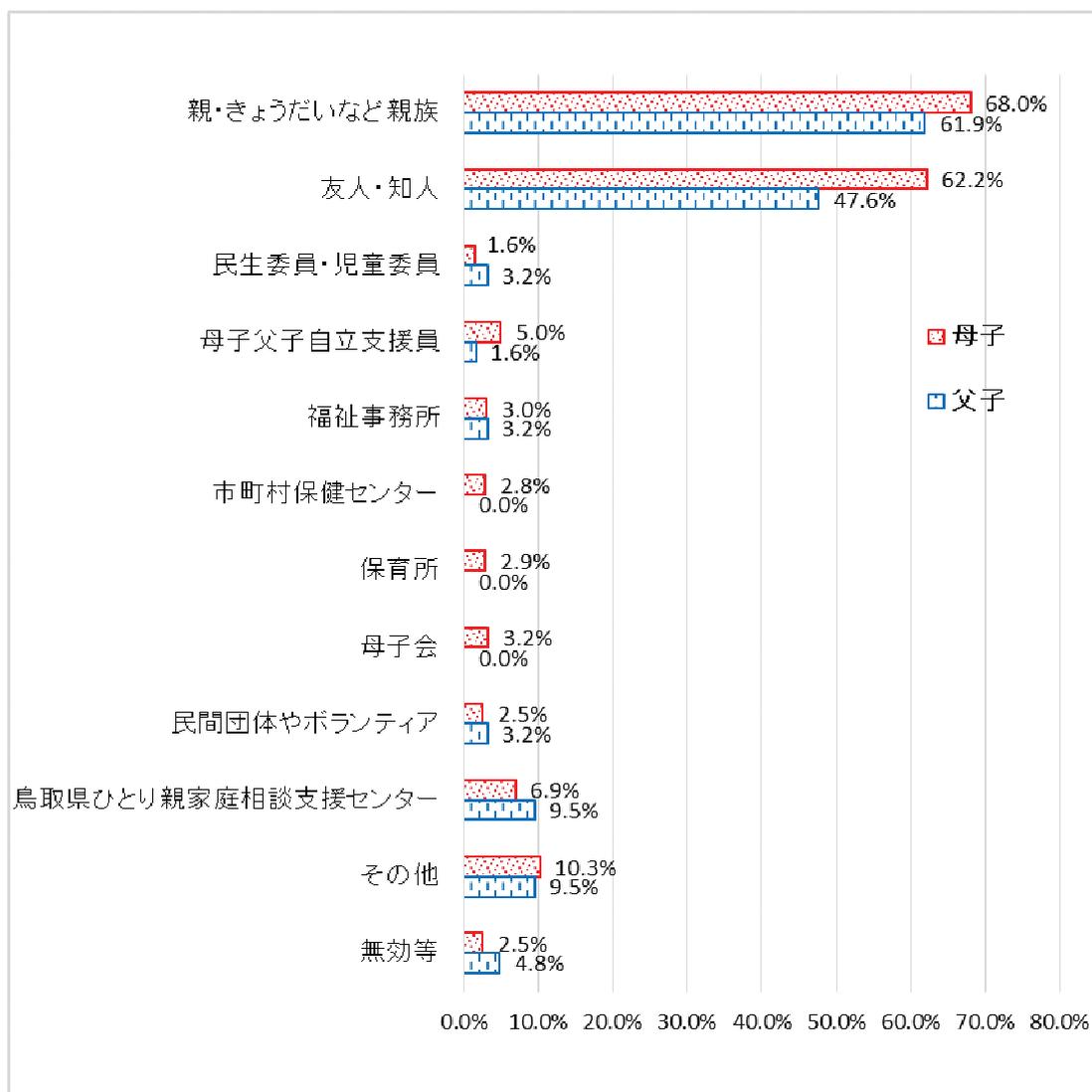


	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
いる	800	68.6%	44	56.4%	844	67.8%
相談相手がほしい	215	18.4%	19	24.4%	234	18.8%
必要ない	134	11.5%	13	16.7%	147	11.8%
無効等	17	1.5%	2	2.6%	19	1.5%
総計	1166	100.0%	78	100.0%	1244	100.0%

「相談できる相手がいる」ひとり親の相談相手は誰か、「相談相手がほしい」ひとり親はどのような相手に相談したいと思うかについて、母子世帯の母は「親・きょうだいなど親族」が68.0%で最も多く、次いで「友人・知人」が6.2%となっている。

父子世帯の父は「親・きょうだいなど親族」が61.9%で最も多く、次いで「友人・知人」が4.6%で最も多かった。

(グラフ、表は次ページ)



	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
親・きょうだいなど親族	696	68.0%	39	61.9%	735	67.7%
友人・知人	636	62.2%	30	47.6%	666	61.3%
民生委員・児童委員	16	1.6%	2	3.2%	18	1.7%
母子父子自立支援員	51	5.0%	1	1.6%	52	4.8%
福祉事務所	31	3.0%	2	3.2%	33	3.0%
市町村保健センター	29	2.8%	0	0.0%	29	2.7%
保育所	30	2.9%	0	0.0%	30	2.8%
母子会	33	3.2%	0	0.0%	33	3.0%
民間団体やボランティア	26	2.5%	2	3.2%	28	2.6%
鳥取県ひとり親家庭相談支援センター	71	6.9%	6	9.5%	77	7.1%
その他	105	10.3%	6	9.5%	111	10.2%
無効等	26	2.5%	3	4.8%	29	2.7%
回答者数	1023	—	63	—	1,086	—

3 ひとり親家庭支援施策の認知状況

(1) 母子世帯

ひとり親家庭を対象とした支援施策の認知状況について、「知っている」とした事業等は、「ひとり親家庭医療費助成制度」が最も多く84.7%、次いで「母子父子寡婦福祉資金」の38.2%、「自立支援教育訓練給付金」の33.6%となっている。

(上段：構成比、下段：回答数)

	今回調査結果			前回調査結果			前回比
	知らない	知っている	無効等	知らない	知っている	無効等	
母子・父子自立支援員	72.7% 848	26.7% 311	0.6% 7	58.1% 538	41.4% 383	0.5% 5	-14.7%
ひとり親家庭福祉推進員 (ライフサポーター)	88.8% 1035	10.6% 123	0.7% 8	85.3% 790	13.0% 120	1.7% 16	-2.4%
ひとり親家庭支援サイト	77.4% 902	21.2% 248	1.4% 16	68.7% 636	29.3% 271	2.1% 19	-8.1%
ひとり親家庭等日常生活 支援事業	85.2% 993	14.1% 164	0.7% 9	80.3% 744	18.4% 170	1.3% 12	-4.3%
ひとり親家庭等就業支援 講習会事業	80.4% 937	18.9% 220	0.8% 9	75.4% 698	23.1% 214	1.5% 14	-4.2%
自立支援教育訓練給付金	65.4% 762	33.6% 392	1.0% 12	55.1% 510	42.0% 389	2.9% 27	-8.4%
高等職業訓練促進給付金	68.4% 797	30.7% 357	1.0% 12	59.3% 549	37.9% 351	2.8% 26	-7.2%
母子父子寡婦福祉資金	61.1% 712	38.2% 445	0.8% 9	50.4% 467	46.8% 433	2.8% 26	-8.6%
ひとり親家庭医療費助成制 度(特別医療費助成制度)	14.6% 170	84.7% 987	0.8% 9	10.9% 101	87.3% 808	1.8% 17	-2.6%
一般社団法人鳥取県母子寡 婦福祉連合会(母子会)	74.3% 866	25.3% 295	0.4% 5	66.8% 619	31.9% 295	1.3% 12	-6.6%

(総回答数は、今回調査：1166、前回調査：926)

(2) 父子世帯

ひとり親家庭を対象とした福祉施策の認知状況について、「知っている」とした事業等は、「ひとり親家庭医療費助成制度」が最も多く、60.3%、次いで「母子父子寡婦福祉資金」の23.1%となっている。

(上段：構成比、下段：回答数)

	今回調査結果			前回調査結果			前回比
	知らない	知っている	無効等	知らない	知っている	無効等	
母子・父子自立支援員	76.9% 60	20.5% 16	2.6% 2	62.0% 44	36.6% 26	1.4% 1	-16.1%
ひとり親家庭福祉推進員 (ライフサポーター)	84.6% 66	14.1% 11	130.0% 1	85.9% 61	11.3% 8	2.8% 2	2.8%
ひとり親家庭支援サイト	76.9% 60	20.5% 16	260.0% 2	83.1% 59	14.1% 10	2.8% 2	6.4%
ひとり親家庭等日常生活 支援事業	87.2% 68	10.3% 8	260.0% 2	88.7% 63	8.5% 6	2.8% 2	1.8%
ひとり親家庭等就業支援 講習会事業	88.5% 69	11.5% 9	0.0% 0	87.3% 62	12.7% 9	0.0% 0	-1.2%
自立支援教育訓練給付金	82.1% 64	18.0% 14	0.0% 0	81.7% 58	15.5% 11	2.8% 2	2.5%
高等職業訓練促進給付金	79.5% 62	20.5% 16	0.0% 0	85.9% 61	9.9% 7	4.2% 3	10.6%
母子父子寡婦福祉資金	76.9% 60	23.1% 18	0.0% 0	78.9% 56	16.9% 12	4.2% 3	6.2%
ひとり親家庭医療費助成制 度(特別医療費助成制度)	39.7% 31	60.3% 47	0.0% 0	36.6% 26	59.2% 42	4.2% 3	1.1%
一般社団法人鳥取県母子寡 婦福祉連合会(母子会)	88.5% 69	11.5% 9	0.0% 0	84.5% 60	11.3% 8	4.2% 3	0.2%

(総回答数は、今回調査：78、前回調査：71)

4 ひとり親家庭支援施策の利用状況

(1) 母子世帯

ひとり親家庭を対象とした支援施策について、事業を「知っている」かつ「利用したことがある」とした母子世帯は、「ひとり親家庭医療費助成制度」が最も多く79.7%、次いで「ひとり親家庭支援サイト」の49.6%となっている。

(上段：構成比、下段：回答数)

	今回調査結果		前回調査結果		利用率 前回比
	利用した ことがある	利用した ことがない	利用した ことがある	利用した ことがない	
母子・父子自立支援員	16.1% 50	83.9% 261	19.10% 73	80.9% 310	-3.0%
ひとり親家庭福祉推進員 (ライフサポーター)	6.5% 8	93.5% 115	10.8% 13	89.2% 107	-4.3%
ひとり親家庭支援サイト	49.6% 123	50.4% 125	43.5% 118	56.5% 153	6.1%
ひとり親家庭等日常生活 支援事業	8.5% 14	91.5% 150	5.3% 9	94.7% 161	3.2%
ひとり親家庭等就業支援 講習会事業	10.0% 22	90.0% 198	8.4% 18	91.6% 196	1.6%
自立支援教育訓練給付金	13.0% 51	87.0% 341	9.0% 35	91.0% 354	4.0%
高等職業訓練促進給付金	14.6% 52	85.4% 305	10.3% 36	89.7% 315	4.3%
母子父子寡婦福祉資金	7.0% 31	93.0% 414	7.9% 34	92.1% 399	-0.9%
ひとり親家庭医療費助成制度 (特別医療費助成制度)	79.7% 787	20.3% 200	77.6% 627	22.4% 181	2.1%
一般社団法人鳥取県母子寡婦 福祉連合会(母子会)	20.7% 61	79.3% 234	14.6% 43	85.4% 252	6.1%

(2) 父子世帯

ひとり親家庭を対象とした支援施策について、事業を「知っている」かつ「利用したことがある」とした父子世帯は、「ひとり親家庭医療費助成制度」が最も多く63.8%、次いで「ひとり親家庭支援サイト」の31.3%となっている。

(上段：構成比、下段：回答数)

	今回調査結果		前回調査結果		前回比
	利用した ことがある	利用した ことがない	利用した ことがある	利用した ことがない	
母子・父子自立支援員	0.0% 0	100.0% 16	23.10% 6	76.9% 20	-23.1%
ひとり親家庭福祉推進員 (ライフサポーター)	0.0% 0	100.0% 11	25.0% 2	75.0% 6	-25.0%
ひとり親家庭支援サイト	31.3% 5	68.8% 11	40.0% 4	60.0% 6	-8.8%
ひとり親家庭等日常生活 支援事業	0.0% 0	100.0% 8	33.3% 2	66.7% 4	-33.3%
ひとり親家庭等就業支援 講習会事業	0.0% 0	100.0% 9	44.4% 4	55.6% 5	-44.4%
自立支援教育訓練給付金	7.1% 1	92.9% 13	0.0% 0	100.0% 11	7.1%
高等職業訓練促進給付金	6.3% 1	93.8% 15	14.3% 1	85.7% 6	-8.1%
母子父子寡婦福祉資金	11.1% 2	88.9% 16	25.0% 3	75.0% 9	-13.9%
ひとり親家庭医療費助成制度 (特別医療費助成制度)	63.8% 30	36.2% 17	64.3% 27	35.7% 15	-0.5%
一般社団法人鳥取県母子寡婦 福祉連合会(母子会)	0.0% 0	100.0% 9	0.0% 0	100.0% 8	0.0%

5 ひとり親家庭支援施策を利用しない理由

ひとり親家庭を対象とした支援施策について、「知っている」かつ「利用したことがない」とした事業について、利用しない理由を質問したところ、母子世帯において、「特別医療費助成制度を利用しない理由」を除いて、「必要がない」、「予定がない」等、制度利用の必要性を感じていないという理由が最多となっている。

父子世帯についても、母子世帯同様に制度利用の必要性を感じていないという理由や、制度の内容を理解しにくい、条件に合わない、わずらわしいなどの理由が多くなっている。

日常生活支援事業を利用しない理由

	母子		父子		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
必要がないから	69	37.1%	2	18.2%	71	36.0%
具体的な支援が分からないから	40	21.5%	3	27.3%	43	21.8%
登録手続きがわずらわしいから	33	17.7%	2	18.2%	35	17.8%
登録方法が分からないから	9	4.8%	1	9.1%	10	5.1%
他の制度を利用しているから	6	3.2%	0	0.0%	6	3.0%
その他	29	15.6%	3	27.3%	32	16.2%
無効等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	186	100.0%	11	100.0%	197	100.0%

パソコン講習会を利用しない理由

	母子		父子		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
必要がないから	115	53.5%	4	44.4%	119	53.1%
研修日程や時間が合わなかったから	57	26.5%	2	22.2%	59	26.3%
研修情報が得られなかったから	11	5.1%	1	11.1%	12	5.4%
同様の研修を受講したから	8	3.7%	0	0.0%	8	3.6%
その他	23	10.7%	2	22.2%	25	11.2%
無効等	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
総計	215	100.0%	9	100.0%	224	100.0%

自立支援教育訓練給付金を利用しない理由

	母子		父子		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
予定がないから	226	58.4%	11	78.6%	237	59.1%
経済的な負担が大きいから	105	27.1%	1	7.1%	106	26.4%
手続きの方法が分からないから	15	3.9%	0	0.0%	15	3.7%
その他	34	8.8%	2	14.3%	36	9.0%
無効等	7	1.8%	0	0.0%	7	1.7%
総計	387	100.0%	14	100.0%	401	100.0%

高等職業訓練給付金を利用しない理由

	母子		父子		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
予定がないから	208	57.8%	12	75.0%	220	58.5%
経済的な負担が大きいから	106	29.4%	3	18.8%	109	29.0%
手続きの方法が分からないから	8	2.2%	1	6.3%	9	2.4%
その他	31	8.6%	0	0.0%	31	8.2%
無効等	7	1.9%	0	0.0%	7	1.9%
総計	360	100.0%	16	100.0%	376	100.0%

母子父子寡婦福祉資金を利用しない理由

	母子		父子		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
必要がないから	214	45.7%	6	31.6%	220	45.2%
利用の要件に合わなかったから	85	18.2%	1	5.3%	86	17.7%
手続きの方法が分からないから	45	9.6%	1	5.3%	46	9.4%
手続きがわずらわしいから	53	11.3%	5	26.3%	58	11.9%
その他	64	13.7%	6	31.6%	70	14.4%
無効等	7	1.5%	0	0.0%	7	1.4%
総計	468	100.0%	19	100.0%	487	100.0%

特別医療費助成制度を利用しない理由

	母子		父子		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
必要がないから	27	12.4%	9	47.4%	36	15.2%
利用の要件に合わなかったから	143	65.6%	10	52.6%	153	64.6%
手続きの方法が分からないから	21	9.6%	0	0.0%	21	8.9%
手続きがわずらわしいから	7	3.2%	0	0.0%	7	3.0%
その他	18	8.3%	0	0.0%	18	7.6%
無効等	2	0.9%	0	0.0%	2	0.8%
総計	218	100.0%	19	100.0%	237	100.0%

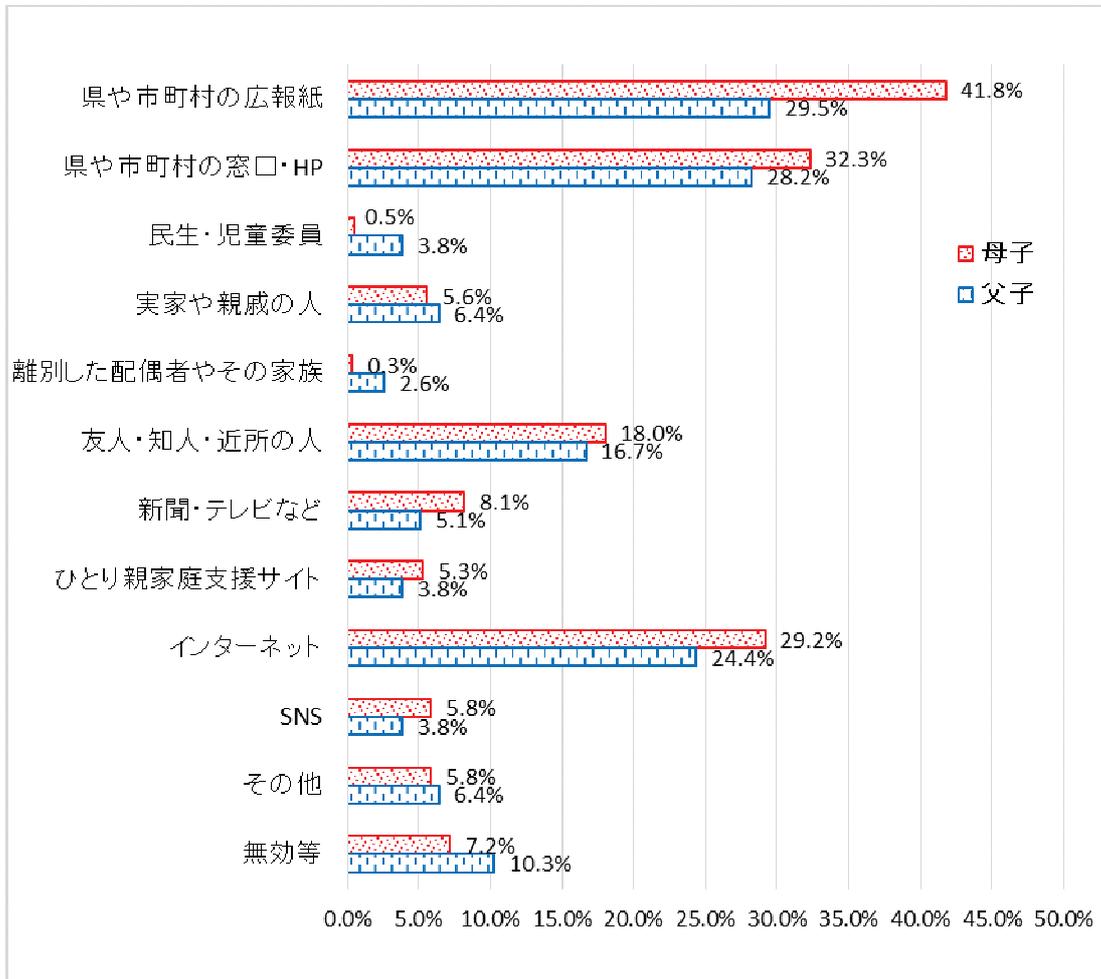
母子会イベント不参加の理由

	母子		父子		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
参加したい事業がないから	115	42.9%	5	41.7%	120	42.9%
事業の情報が得られなかったから	52	19.4%	3	25.0%	55	19.6%
参加の方法が分からないから	37	13.8%	1	8.3%	38	13.6%
その他	59	22.0%	2	16.7%	61	21.8%
無効等	5	1.9%	1	8.3%	6	2.1%
総計	268	100.0%	12	100.0%	280	100.0%

6 行政によるひとり親家庭支援施策の入手方法（問51）

ひとり親がどのような方法で行政によるひとり親家庭支援施策を入手しているかについて、母子世帯は、「県や市町村の広報誌」が41.8%と最も多く、次いで「県や市町村の窓口」が32.3%、「インターネット」が29.2%となっている。

父子世帯は、「県や市町村の広報誌」と「県や市町村の窓口」が約30%程度であり、次いで「インターネット」が24.4%となっている。

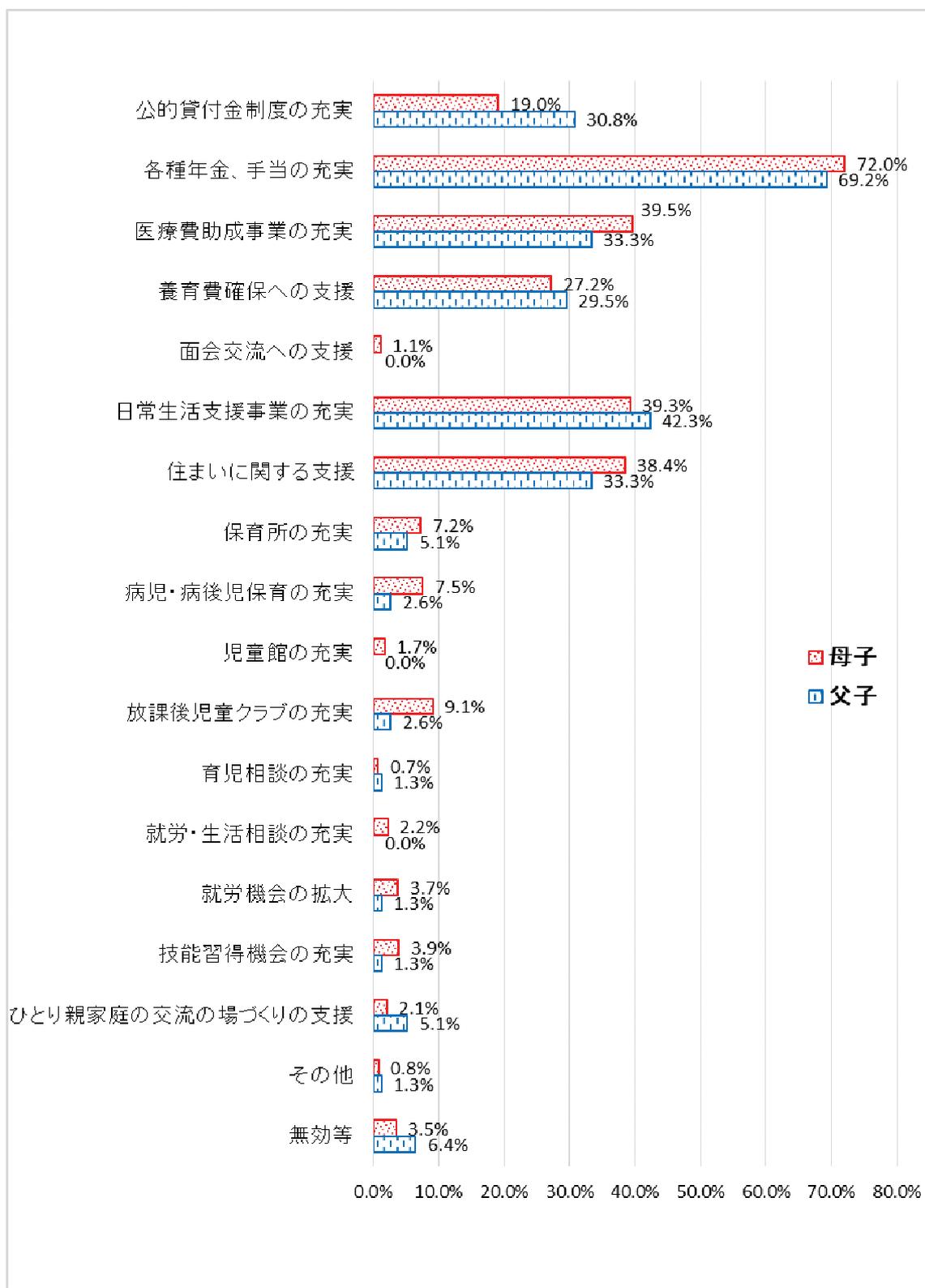


	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
県や市町村の広報誌	487	41.8%	23	29.5%	510	41.0%
県や市町村の窓口・HP	377	32.3%	22	28.2%	399	32.1%
民生・児童委員	6	0.5%	3	3.8%	9	0.7%
実家や親戚の人	65	5.6%	5	6.4%	70	5.6%
離別した配偶者やその家族	4	0.3%	2	2.6%	6	0.5%
友人・知人・近所の人	210	18.0%	13	16.7%	223	17.9%
新聞・テレビなど	95	8.1%	4	5.1%	99	8.0%
ひとり親家庭支援サイト	62	5.3%	3	3.8%	65	5.2%
インターネット	340	29.2%	19	24.4%	359	28.9%
SNS	68	5.8%	3	3.8%	71	5.7%
その他	68	5.8%	5	6.4%	73	5.9%
無効等	84	7.2%	8	10.3%	92	7.4%
回答者数	1166	—	78	—	1244	—

7 行政機関への要望（問52）

母子世帯は、「各種年金、手当の充実」が72.0%と最も多く、次いで「医療費助成事業の充実」、「日常生活支援事業の充実」、「住まいに関する支援」が約40%程度となっている。

父子世帯は、「各種年金、手当の充実」が69.2%と最も多く、次いで「日常生活支援事業の充実」が42.3%、「公的貸付金制度の充実」、「医療費助成制度の充実」、「養育費確保への支援」、「住まいに関する支援」が約30%程度となっている。



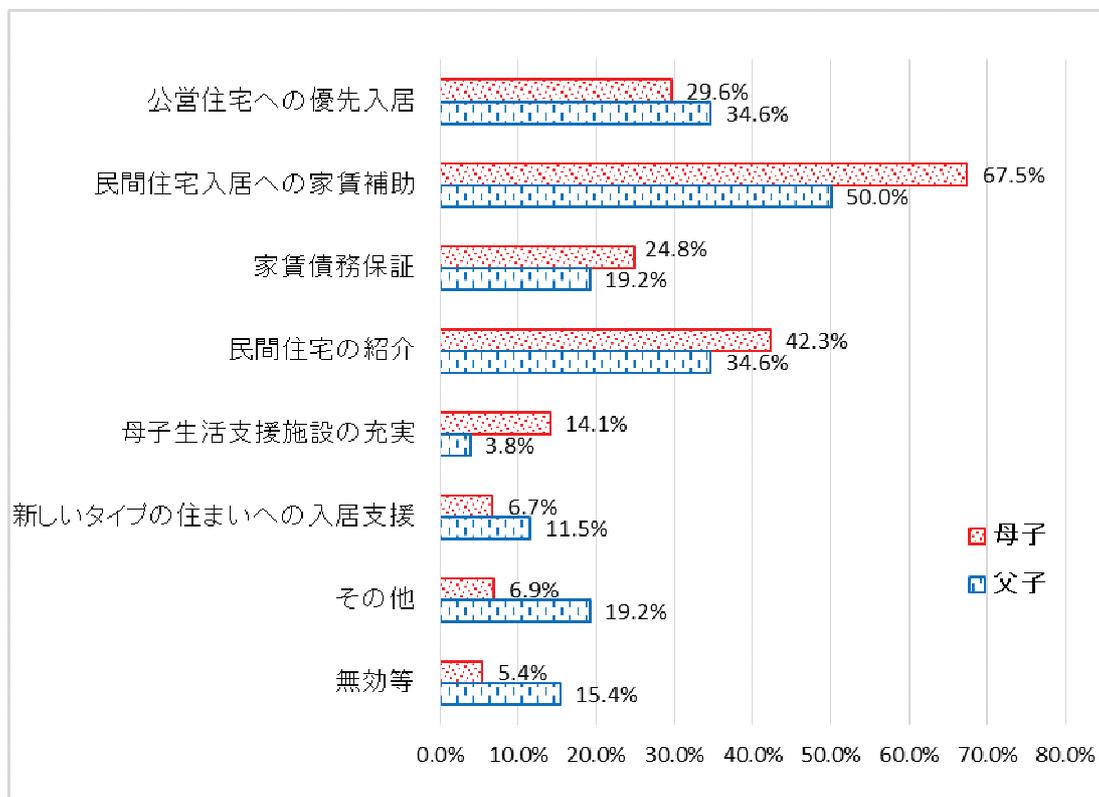
	母子	
	回答数	構成比
各種年金、手当の充実	840	72.0%
医療費助成事業の充実	461	39.5%
日常生活支援事業の充実	458	39.3%
住まいに関する支援	448	38.4%
養育費確保への支援	317	27.2%
公的貸付金制度の充実	222	19.0%
放課後児童クラブの充実	106	9.1%
病児・病後児保育の充実	88	7.5%
保育所の充実	84	7.2%
技能習得機会の充実	45	3.9%
就労機会の拡大	43	3.7%
無効等	41	3.5%
就労・生活相談の充実	26	2.2%
ひとり親家庭の交流の場 づくりの支援	24	2.1%
児童館の充実	20	1.7%
面会交流への支援	13	1.1%
その他	9	0.8%
育児相談の充実	8	0.7%
回答者数	1166	—

	父子	
	回答数	構成比
各種年金、手当の充実	54	69.2%
日常生活支援事業の充実	33	42.3%
医療費助成事業の充実	26	33.3%
住まいに関する支援	26	33.3%
公的貸付金制度の充実	24	30.8%
養育費確保への支援	23	29.5%
無効等	5	6.4%
保育所の充実	4	5.1%
ひとり親家庭の交流の場 づくりの支援	4	5.1%
病児・病後児保育の充実	2	2.6%
放課後児童クラブの充実	2	2.6%
育児相談の充実	1	1.3%
就労機会の拡大	1	1.3%
技能習得機会の充実	1	1.3%
その他	1	1.3%
面会交流への支援	0	0.0%
児童館の充実	0	0.0%
就労・生活相談の充実	0	0.0%
回答者数	78	—

7-2 住まいに関する支援についての要望（問52-2）

行政機関への要望事項で「住まいへの支援」を選択した回答者に、具体的にどのような支援が望むかを質問したところ、母子世帯は「民間住宅入居への家賃補助」が67.5%で最多となっており、次いで「民間住宅の紹介」が42.3%となっている。

父子世帯は「民間住宅入居への家賃補助」が50.0%で最多となっており、「公営住宅への優先入居」、「民間住宅の紹介」が34.6%となっている。



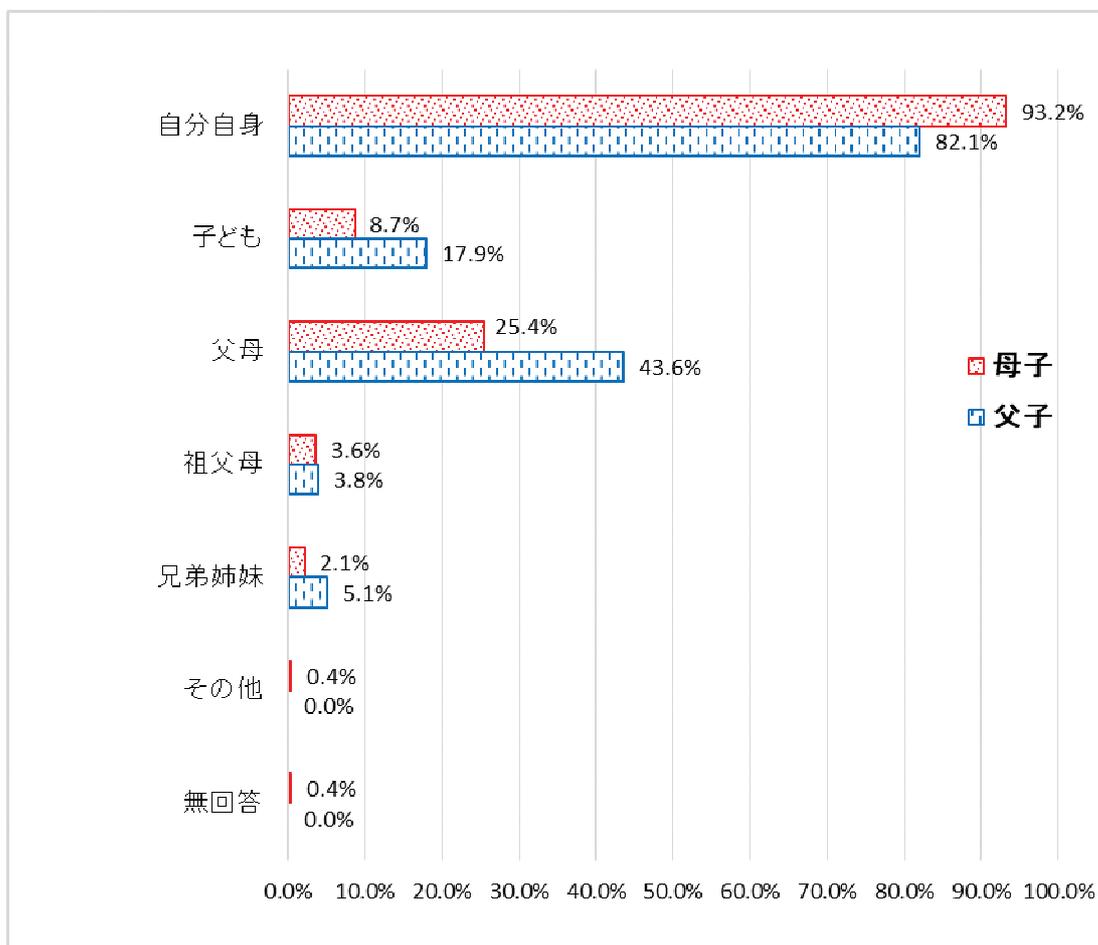
	母子		父子		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
公営住宅への優先入居	149	29.6%	9	34.6%	158	29.8%
民間住宅入居への家賃補助	340	67.5%	13	50.0%	353	66.6%
家賃債務保証	125	24.8%	5	19.2%	130	24.5%
民間住宅の紹介	213	42.3%	9	34.6%	222	41.9%
母子生活支援施設の充実	71	14.1%	1	3.8%	72	13.6%
新しいタイプの住まいへの入居支援	34	6.7%	3	11.5%	37	7.0%
その他	35	6.9%	5	19.2%	40	7.5%
無効等	27	5.4%	4	15.4%	31	5.8%
回答者数	504	—	26	—	530	—

8 家事や世話、介護を主にしている人（問54）

日常的な家事や家族の世話、介護を主に誰がしているかを質問したところ、母子世帯は「自分自身」が93.2%で最多となっており、次いで「父母（自分の）」が25.4%となっている。

父子世帯も母子世帯と同様であり、「自分自身」が82.1%で最多となっており、次いで「父母（自分の）」が43.6%となっている。

父子世帯のほうが、「父母」にしまわっている割合が多くなっている。



	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
自分自身	1087	93.2%	64	82.1%	1151	92.5%
子ども	101	8.7%	14	17.9%	115	9.2%
父母	296	25.4%	34	43.6%	330	26.5%
祖父母	42	3.6%	3	3.8%	45	3.6%
兄弟姉妹	25	2.1%	4	5.1%	29	2.3%
その他	5	0.4%	0	0.0%	5	0.4%
無回答	5	0.4%	0	0.0%	5	0.4%
回答者数	1166	—	78	—	1244	—